

原発体制を問うキリスト者ネットワーク (CNFE)

学 習
講 演 会

原発事故後のフクシマの現状

— 子どもたちを守るための私たちの歩み —



講演：千葉 由美さん

いわき初期被曝を追及するママの会 代表

モニタリングポストの継続配置を求める市民の会 共同代表

原発事故から8年、東京オリンピック開催の喧伝など、原発事故を忘れさせ、幕引きしようという目論見がますます強まって来ています。福島では帰還政策によって被曝地域に呼び戻され、リアルタイムに放射線量が見られるモニタリングポストを撤去しようとしています。首都圏に住む私たちも、被曝当事者であることを忘れてしまい、何事もなかったように暮らしているのが現状です。原発事故以降、母親の目で被曝の問題に取り組み、地域・世代を超えて情報を共有し、忍耐強くいわき市・福島県・原子力規制庁への要請や話し合いに努めておられる千葉さんから、お話をお聞きします。

日時：2019年5月25日（土）14：00～16：00（開場：13：30）

場所：日本基督教団 信濃町教会 集会室（2階）

東京都新宿区信濃町30（JR信濃町駅前大通りを右に3分。郵便局の先、駐車場手前）

参加費：500円

【連絡：090-5406-3523 秋山まで】